

【授業の概要】

近代文学を中心に、作者の生涯と関連させながら作品の内容理解を深める。また、文学作品をさまざまな角度から読み直し、文学に対する興味および新たな視点を喚起する。

【授業要旨】

回数	大項目	小項目	授 業 内 容 (留意点、テスト、レポート、作業、参考文献、教材等)
第1回	オリエンテーション		講義の目標、演習問題、他
第2回	「桜」についての文学を読む	詩歌編	古典から現代詩にいたるまでに書かれた「桜」のイメージをまとめる。
第3回		小説編	梶井基次郎『櫻の樹の下には』を中心に、「桜」に託されたイメージを読み取る。
第4回		まとめ	桜の象徴するもの、桜に関する多角的な視点をまとめる。
第5回	文学史		近代日本の文学史を学ぶ
第6回	太宰 治	走れメロス	作者の生涯について。
第7回		同上	『走れメロス』を二つの方向から解釈する。
第8回	日本の怪談	文化としての「怪談」	映画「もののけ姫」などに見られる民話や伝説を分析し、古典的な怪談の世界に触れる。また、民話や怪談の社会及び時代背景を考察する。
第9回		上田秋成 小泉八雲 柳田國男	上田秋成『雨月物語』小泉八雲『怪談』を中心に、古代・近代の怪談から現代の怪談までの関連性を発見する。
第10回		プレゼンテーション	郷土に根ざした民話や怪談話を収集して発表を行う。
第11回	ユートピア文学	桃源郷 地下世界 その他	古今東西の「ユートピア」文学を読み比べ、どういった相違点が見られるのか、どういった文化と関連しているのかを検討する。
第12回	川端康成	伊豆の踊り子	ノーベル賞作家の作者の生涯と、そこからみる『伊豆の踊り子』の解釈の可能性。
第13回	おとぎ話	グリム、ペロー、 アンデルセン他	おとぎ話、童話を文学として読み解く。
第14回		同上	おとぎ話や童話の変遷を、時代、社会的背景を通して考える。
第15回	まとめ及び評価	まとめ及びテスト	

【評価の方法】 出席状況・授業態度・小テスト・レポートまたは定期試験を加味して評価する。

【テキスト】『常用漢字オールクリア』尚文出版

主にプリント。その他の場合は適宜指示する。